



2026年1月発行

文責 にじいろこどもクリニック 院長 相澤知美

令和8年となりました、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年末年始のお休み明けは、学校の冬休みと、保育園・幼稚園のお休みなどで、発熱者が減少し、比較的穏やかでしたが、徐々に感染症が増加傾向です。インフルエンザB、新型コロナウイルスが出始め、胃腸炎の患者さんが増えていますので、お気をつけ下さい。

今年は午（うま）年なので、皆様にとって新たな挑戦や目標へ向かって飛躍の年になりますように。私も子供とともに走り抜けたいと思います。

急性胃腸炎

小児の急性胃腸炎は、多くはウイルス性で、口タ、アデノ、ノロは抗原キットがありますが、その他は抗原キットでは調べられないウイルスです。夏場はたまに食中毒菌のカンピロバクター、サルモネラ、病原性大腸菌が出ることもあります。バーベキューをした後等に、嘔吐、下痢、血便、高熱、強い腹痛を認める場合は、便の細菌検査をすることがあります（昨年も3人くらいいましたので、お肉はしっかり焼きましょう）。冬場はほとんどがウイルス性ですから、抗生素も効かないで整腸剤を内服して炎症が治まるのを待つことになります。

嘔気・嘔吐がひどいのは最初の半日くらいなので、まずは飲まずに嘔気が治まるのを待ちます。飲んで吐いてを繰り返すと、脱水が悪化します。とは言っても、子供に飲みたいのを我慢させるのは一苦労です。数時間して嘔気が治まつたら、水分を少量ずつ30分間隔くらいで与えて、嘔吐しなければ消化が良い食べ物を開始します。嘔吐が続き、尿量が少ない、脈が速い、口の中が乾いているなどの脱水症状がある場合は、点滴が必要になることもあります。

口タウイルスのみ予防接種があります。予防接種導入後、入院率が70~90%減少したという報告があります。過去に、急速な脱水で全身状態が悪くなった患者さんを診療したことがあります。最近重症化する方はほとんどいなくなっていました。親御さんもお子さんからもらわないように、うがい手洗いで予防しましょう。

02 2026
FEBRUARY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
					1	
2	3	4 11:00 まで	5	6 午後 休診	7	8
9	10	11 祝	12	13	14	15
16	17	18	19	20 16:00 まで	21 9:00 から	22
23 祝	24	25	26	27	28	

<感染症発生数>

	1/5 ~10	1/12 ~17	1/19 ~24
インフルエンザA	4	1	2
インフルエンザB	5	2	10
新型コロナウイルス	1	4	6
マイコプラズマ	4	5	3
溶連菌	8	5	10
アデノウイルス	2	0	0
RSウイルス	2	3	2

抗原検査では、突出して多いものは無かったですが、様々な感染症が出ていました。

上記の他は、嘔吐・下痢の胃腸炎症状の方が多かったです。お気をつけ下さい。